



(サーティファイド ファイナンシャル プランナー®)



(アフィリエイトッド ファイナンシャル プランナー)

FP

CFP®・AFP認定者をめざすための

ファイナンシャル・プランナー

ライセンスガイド

Financial Planner License Guide

〈日本FP協会公式アプリ〉ダウンロードはこちらから
 どなたでも「資格取得に関する情報」や「くらしとお金に関する知識」を
 ご覧いただけます。

便利!
 役に立つ!!
 公式アプリ

**日本FP協会
 公式アプリ**

最新のFP情報をあなたのお手元に。
 日々のFP業務・活動に役立つ
 多彩なコンテンツが盛りだくさん。



特定非営利活動法人 (NPO 法人)
 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会



入会に関するお問い合わせは
 日本FP協会ホームページのお問い合わせページへ



〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 5F

URL: <https://www.jafp.or.jp/>

特に断りのない限り、掲載内容は2023年10月時点のものです。

情報が変更されている場合がありますので、最新の情報は日本FP協会ホームページにてご確認ください。


2311-40000

- FP資格の種類 ▶ P.1
- 信頼されるCFP®・AFP資格 ▶ P.2
- CFP®・AFP認定者になる魅力 ▶ P.3
- 全国で活躍するCFP®・AFP認定者 ▶ P.4
- FP資格フローチャート ▶ P.5
- AFP認定研修 ▶ P.7
- 2級FP技能検定・CFP®資格審査試験 ▶ P.9
 (AFP資格審査試験)

FP 資格の種類

世界で信頼される
プロフェッショナル資格
「CFP® 資格」


プロのFPへの
スタートライン
「AFP 資格」




CFP® 資格

(CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®)

世界25カ国・地域で導入されている世界共通水準の資格で、高度な知識とスキルを持ち、専門家としての確固たる倫理と経験を備えたFPに与えられる資格です。国際CFP®組織FPSBとのライセンス契約の下に、日本では日本FP協会が認定しています。






AFP 資格

(AFFILIATED FINANCIAL PLANNER)

専門家として必要な知識を持ち、顧客に対して適切なアドバイスを提供できるFPに与えられる資格で、日本FP協会が独自に認定しています。AFP資格を取得することで、CFP® 資格審査試験の受験資格を満たすことができます。



ファイナンシャル・プランニング技能検定

ファイナンシャル・プランニング技能検定は、職業能力開発促進法に基づく技能検定制度の一つで、国家検定です。日本FP協会は、厚生労働大臣から「ファイナンシャル・プランニング」の職種について指定試験機関の指定を受け、「ファイナンシャル・プランニング (FP) 技能検定」を実施しています。

CFP®、AFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサर्टィファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd. (FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約のもとに、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。
AFP、AFFILIATED FINANCIAL PLANNERおよびアフィリエイテッド ファイナンシャル プランナーは、NPO法人日本FP協会の登録商標です。

信頼される CFP®・AFP 資格

確かな信念と信頼に裏打ちされた、日本FP協会認定の「CFP®資格」「AFP資格」

日本FP協会では、4E(教育Education、試験Examination、経験Experience、倫理Ethics)を資格認定の柱とし、「FP実務の6ステップ」をFP実務の指針としています。

そのためCFP®資格、AFP資格ともに、2年ごとに資格の更新を必要とし、2年間で所定の研修等を受講することで継続的な知識・能力の維持向上を図っています。また、顧客のプライバシーに関わる情報や一生に関わるプランや問題を扱うため、協会会員に高い職業倫理を求めています。

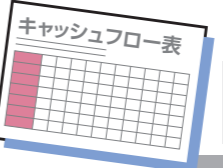
4つのE

4E	Education	教育	所定のFP教育カリキュラムを修了することが資格認定の基本条件。ライセンスの維持・更新には「継続教育」による所定の単位取得が必要。
	Examination	試験	教育要件を満たすとともに、学んだ内容を実際に活用できるかの能力を評価。実務遂行に必要なレベルに達しているかを試験で判断。
	Experience	経験	FPとして実務を遂行するには経験が必要。CFP®認定者になるには試験に合格するとともにCFP®エントリー研修の修了と実務経験が必要。
	Ethics	倫理	日本FP協会が定める「会員倫理規程」等の諸規程の順守について「同意」が必要。個人情報を知り得るFPにとっては、専門的知識に加え、高い職業倫理が不可欠。

FP実務の6ステップ

日本FP協会では国際CFP®組織FPSBが指針とするFP実務の6ステップを採用しています。顧客に最適のアドバイスを行うためには、顧客とファイナンシャル・プランナーとの関係確立から始まり、ファイナンシャル・プランの提示、実行の援助、定期的な見直しまで定められたプロセスを踏む必要があります。FP実務の6ステップを踏むことで信頼されるファイナンシャル・プランニングの提案が可能になります。





- 6 ファイナンシャル・プランの定期的見直し
- 5 ファイナンシャル・プランの実行援助
- 4 ファイナンシャル・プランの検討・作成と提示
- 3 顧客のファイナンス状態の分析と評価
- 2 顧客データの収集と目標の明確化
- 1 顧客との関係確立とその明確化

CFP®・AFP 認定者になる魅力

FPに関する様々な情報が得られます

法改正などのFPに関する最新情報が、『FPジャーナル』、『Myページ』や『アプリ』から入手できます。



▶ 会報『FPジャーナル』 FPに必要な情報を毎月お届け(スマホやPCで閲覧できるFPジャーナルONLINEも提供)

- FP実務に役立つ最新情報や相談事例など
- 各種セミナー案内など
- FP6分野の最新情報などを学べる「FP誌上講座」(継続教育テストに対応)

▶ 会員ホームページ『Myページ』 最新のFP情報をいち早くキャッチ

- FP実務に役立つタイムリーなコラムやデータベース
- 取得した継続教育単位の申請・確認、資格更新手続きや登録情報の照会・各種手続き
- 継続教育テストの受験、各種セミナーの検索・申込

▶ 日本FP協会アプリ 最新のFP情報をお手元に

- FPジャーナルやMyページのコラムの閲覧
- 継続教育単位の申請や各種手続き
- プッシュ通知で更新情報やイベント・セミナー情報を案内



教育・学習の機会が得られます

日々変化する法令・制度などの改正や経済環境に対応できるよう多種多様な教育・学習の機会があります。

※受講費用は原則有料です。
※2年ごとの資格更新に必要な受講費用 AFP認定者：5,000円程度～、CFP®認定者：10,000円程度～

- FPジャーナル継続教育テスト
- スタディ・グループ(SG)の勉強会
- FP実務と倫理テスト
- FPフェア(特別講演、エデュケーショナル・セッション)
- 認定教育機関主催研修
- 実務実践型研修(プロフェッショナルFP研修、レジデンシーコース、みなし実務研修)
- ブロック・支部主催継続教育研修会 など



人脈づくり、ネットワークづくりができます

FP同士の情報交換、専門家との交流など人脈形成やネットワークを広げることができます。

▶ 支部活動 全国50支部での地域特性に応じたFP普及活動・FP同士の情報交換やネットワーク構築

- 生活者向けのセミナー・相談会の開催
- 支部主催の継続教育研修会で知識の維持・向上を図る



▶ スタディ・グループ(SG) SGに参加してさまざまな職種や専門家との人脈づくり

- さまざまな職種の有志が集い、継続的かつ定期的に勉強会を開催するグループ
- スキルアップとともに、幅広い人脈づくりにも役立つ



▶ FPフェア 全国の会員が集う、協会最大級のイベント

- エコノミストや著名人からFPに関する知識や最新情報を学べる講演会
- 会員同士のネットワークづくりに役立つ会員交流会



全国で活躍する CFP®・AFP 認定者



(2023年5月現在)

中国・四国ブロック

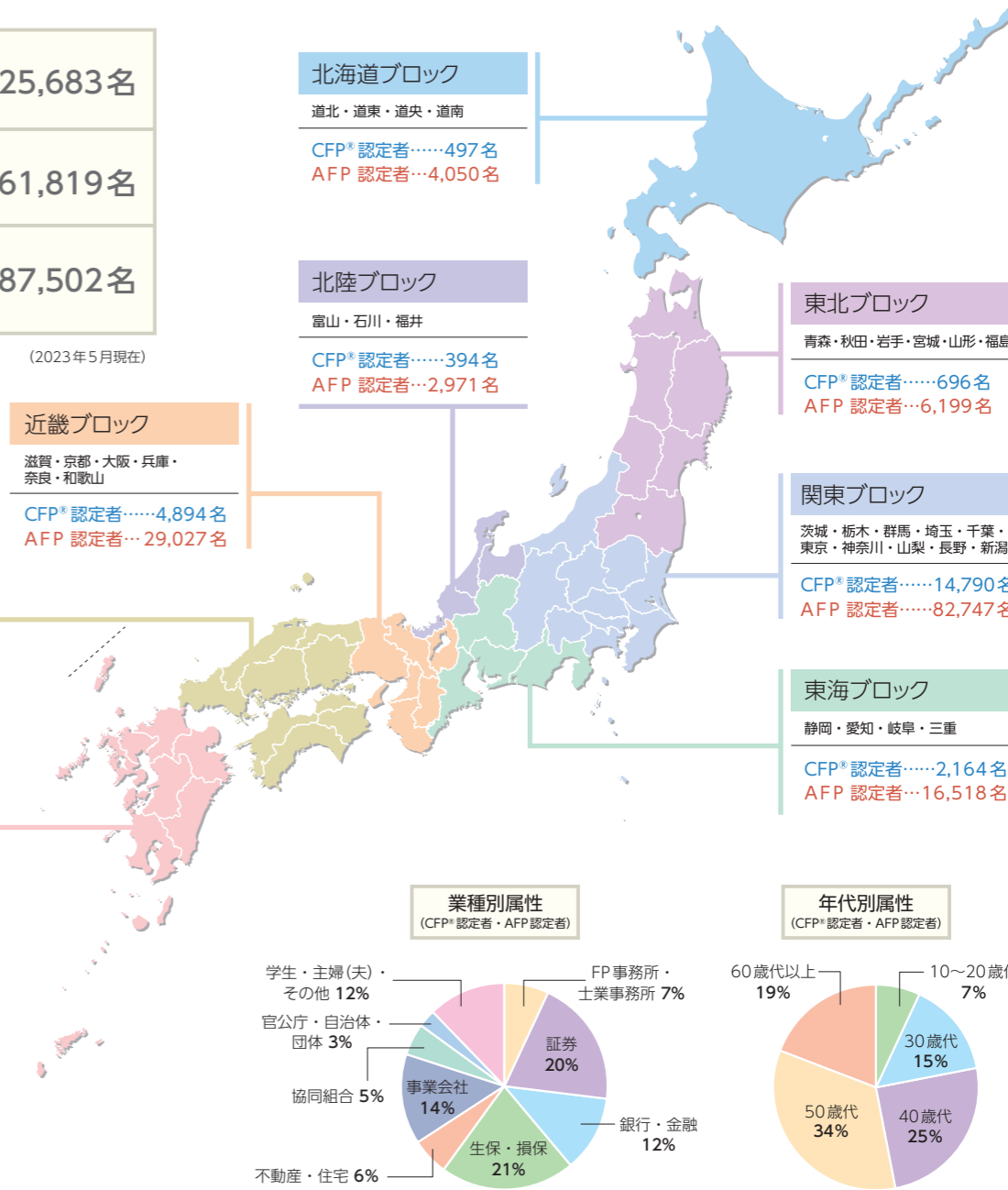
鳥取・島根・岡山・広島・山口・香川・徳島・愛媛・高知

CFP®認定者…1,054名
AFP認定者…9,673名

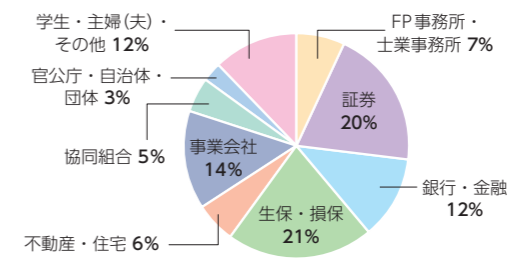
九州ブロック

福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

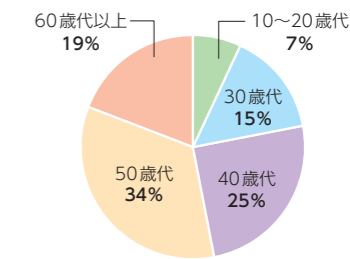
CFP®認定者…1,194名
AFP認定者…10,634名



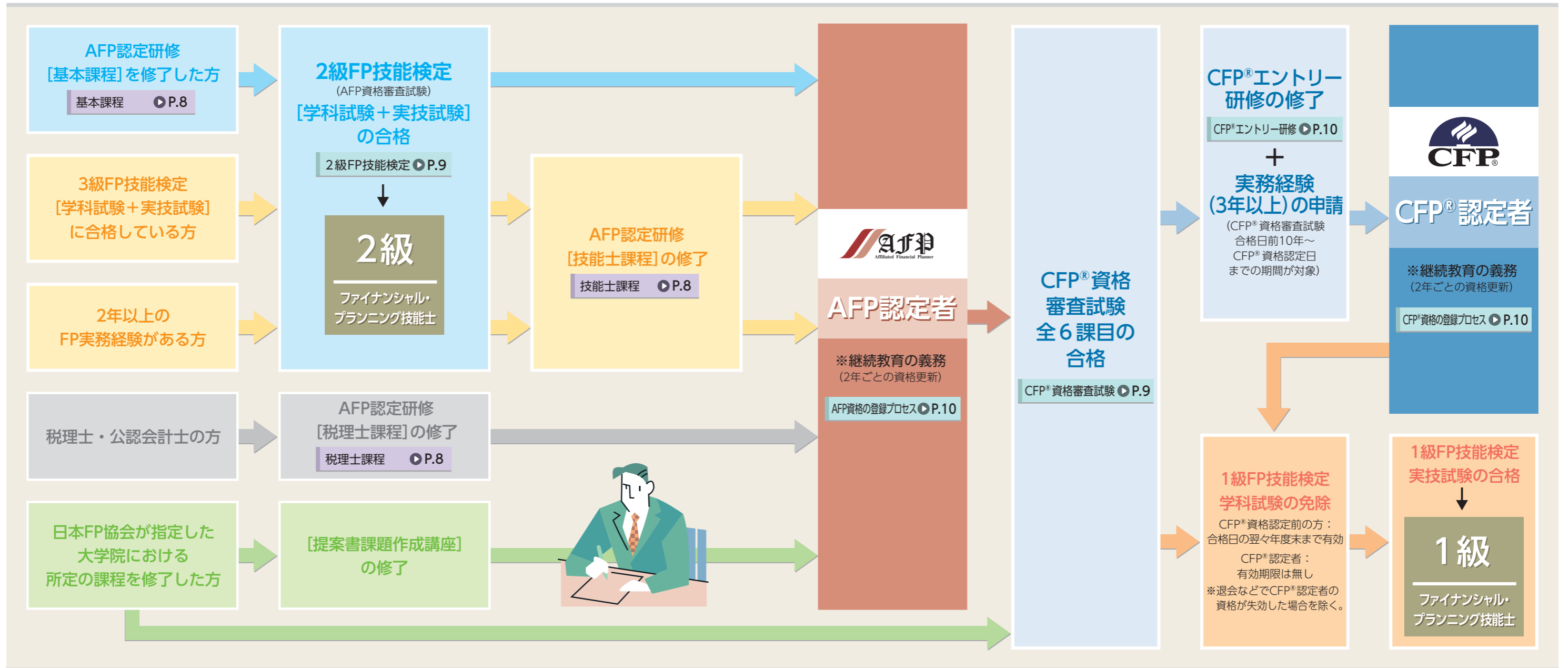
業種別属性 (CFP®認定者・AFP認定者)



年代別属性 (CFP®認定者・AFP認定者)



FP 資格フローチャート



AFP 認定研修

AFP 認定研修とは

AFP 認定研修とは、ファイナンシャル・プランニングに必要な倫理・コンプライアンスとライフプランや、金融、保険など6つの専門分野にわたる知識を体系的に学習できるように構成された日本FP協会認定の研修講座です。この研修での学習内容は、日本FP協会がFPに必要な教育水準をまとめた「FP学習ガイド」に基づいており、日本FP協会が認定した教育機関(以下、認定教育機関)が実施しています。「AFP認定研修」を修了し2級FP技能検定に合格すると、所定の手続きを経てAFP認定者として登録することができます。

受講内容

研修は学習場所や時間を選ばない通信研修が中心で、DVD、インターネットなど様々な学習媒体・形態から自分にあった講座を選ぶことができます。すべての研修では学習の総仕上げとして、課題に基づいた「提案書」(ファイナンシャル・プラン)を作成します。



AFP 認定研修検索

認定教育機関や開講講座については、日本FP協会のホームページで確認できます。
「トップページ」→「FP資格取得を目指す」→「AFP認定研修検索」



学習期間

学習期間(目安)
集合研修：約1カ月～3カ月程度
通信研修：約1カ月～6カ月程度
※受講開始から最長でも1年以内に修了しなければなりません。

修了要件

全学習分野を履修し、指定された課題に基づく提案書を作成・提出します。提出した提案書が一定水準以上の点数を得ることにより修了となります。

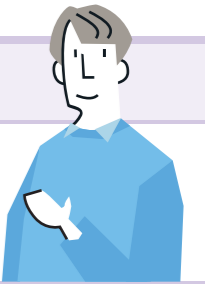
提案書作成に関する注意事項

●AFP認定研修の修了は、AFP認定者として一定の知識とスキルを有していることの裏付けとなるものであり、AFP資格の信用と信頼の根幹を成すものです。その修了要件である「提案書の作成」は、当然に本人自身が作成することが前提であり、この提案書が不正な手段により作成されたものであることが発覚した場合には、AFP認定者としての登録を認めない又は登録を取り消すことがありますので、ご注意ください。

基本課程 >>> ●一般の方(3級FP技能検定に合格していない方など)

講座の特徴

3級FP技能検定に合格していない方、または実務経験が2年以上ない方でも「AFP認定研修(基本課程)」を修了することで、2級FP技能検定の受験資格を得られます。また、2級FP技能検定の試験対策としてもご利用いただけます。
受講料：20,000円程度～



技能士課程 >>> ●1級・2級FP技能検定に合格している方

講座の特徴

1級・2級FP技能検定に合格している方を対象としています。
受講料：9,000円程度～
※1級・2級FP技能検定に合格していない場合、「技能士課程」を受講し修了してもAFP認定研修の修了になりませんのでご注意ください。



税理士課程 >>> ●日本税理士会連合会に登録している方 ●日本公認会計士協会に登録している方

講座の特徴

特例措置として、「タックスプランニング」「相続・事業承継設計」の2課目が免除されます。税理士課程の講座を修了することにより、AFP資格の登録権利が付与されます。
受講料：40,000円程度～
必要書類：「税理士証票」「公認会計士登録証明書」の写し
※「FP技能士」の取得を希望の場合は、別途「FP技能検定」を受検し合格する必要があります。



3級課程 >>> ●3級FP技能検定向け講座を受講したことがある方

講座の特徴

3級FP技能検定向け講座を受講した認定教育機関のみで、受講が可能です。
※受講料は各認定教育機関にお問い合わせください。



受講者情報の登録

講座の受講にあたっては、氏名、性別、生年月日などの個人情報を、受講する認定教育機関経由で日本FP協会に登録していただきます。また、当該講座の修了状況(修了年月日・合格した提案書の得点)についても日本FP協会に登録されます。受講者登録をされますと13桁の受講者番号が採番され、受講者番号に基づき修了状況を協会が確認いたします(協会への登録に同意いただけない場合、受験資格の取得、AFP登録はできません)。

受講者情報の利用目的

●AFP認定研修の受講・修了確認(資格認定時に教育要件を確認) ●「2級FP技能検定」における受験資格の照会 ●その他当協会の適切な事業範囲における利用
※日本FP協会に登録された情報は、「個人情報保護方針」に則り適正に取扱いをいたします。

2級FP技能検定・CFP®資格審査試験 (AFP資格審査試験)



2級FP技能検定 (AFP資格審査試験)

試験日 5月・9月・1月(年3回実施)

試験科目	学科試験	実技試験(資産設計提案業務)
A ライフプランニングと資金計画	B リスク管理	C 金融資産運用
D タックスプランニング	E 不動産	F 相続・事業承継
	① 関連業法との関係及び職業上の倫理を踏まえたファイナンシャル・プランニングのプロセス	② ファイナンシャル・プランニングのプロセス
	③ 顧客のファイナンス状況の分析と評価	④ プランの検討・作成と提示

出題形式(合格基準) 学科試験：筆記(マークシート形式)60問 36点以上(60点満点)
実技試験：筆記(記述式)40問 60点以上(100点満点)

受験資格 下記①～③のいずれかの条件が必要となります。
①AFP認定研修の修了者
②3級FP技能検定、または金融渉外技能審査3級の合格者
③FP業務に関し、2年以上の実務経験者

受験地 47都道府県

受験手数料 学科試験5,700円(非課税)、実技試験6,000円(非課税)

受験申請方法 インターネット又は受験申請書(書面)での申請



CFP®資格審査試験

試験日 6月・11月(年2回実施)

試験科目 6科目(科目ごとの受験可)※3科目ずつ2日間にわたって実施
①金融資産運用設計
②不動産運用設計
③ライフプランニング・リタイアメントプランニング
④リスクと保険
⑤タックスプランニング
⑥相続・事業承継設計

出題形式 筆記(四肢択一式・マークシート形式)
各科目50問(各科目120分)

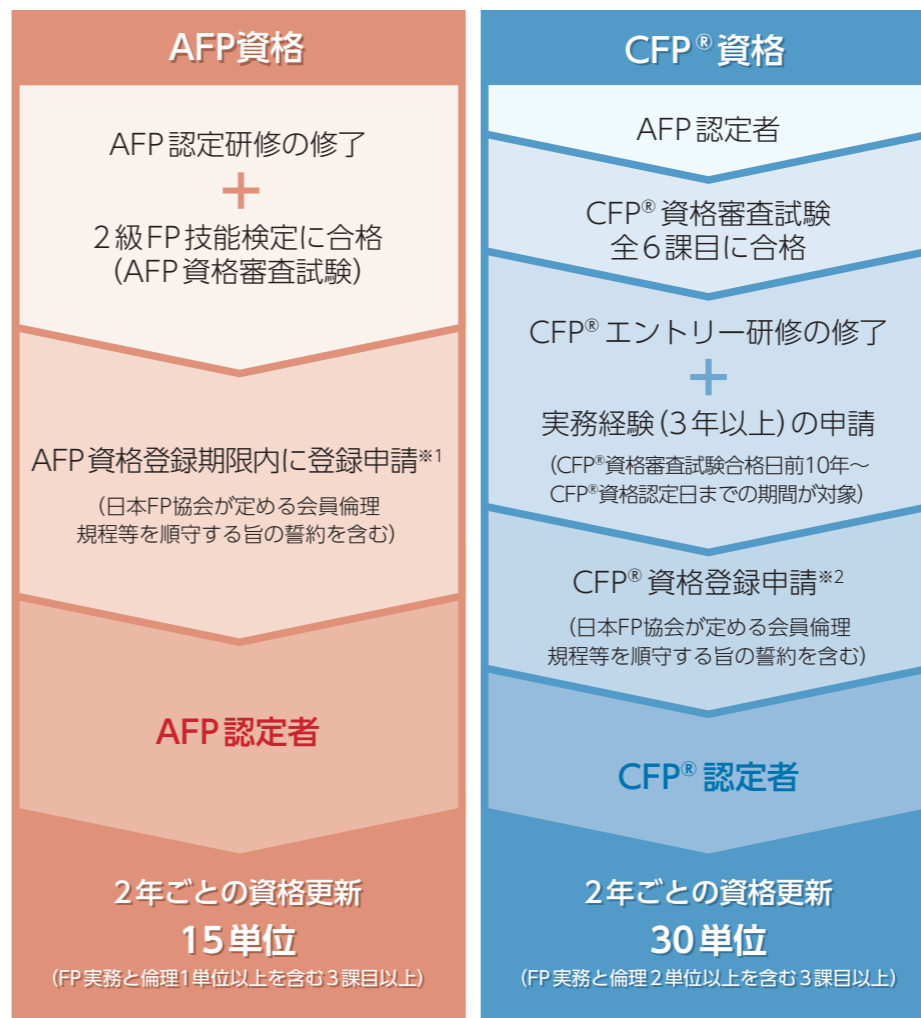
受験資格 AFP認定者
もしくは、日本FP協会が指定した大学院で所定の課程を修了した方
※なお、AFP認定者から協会の一般会員に移行した場合や退会した場合は、受験資格がなくなり、CFP®科目合格歴はすべて失効となります。

受験地 24地区
札幌、仙台、水戸、宇都宮、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、金沢、松本、静岡、名古屋、京都、大阪、松江、岡山、広島、高松、松山、福岡、熊本、那覇
同一都道府県内で受験地となる都市が変更になる場合があります。

受験料 1科目 6,600円(税込)
※2科目以上の出願時は、1科目ごとに3,300円(税込)が受験料として加算。
※今後の税制改正等に伴い、受験料が変更となる場合があります。

出願方法 会員ホームページ[Myページ]又は願書(書面)での出願

AFP・CFP®資格の登録プロセス



※1 AFP資格登録期限は2級FP技能検定に合格した試験日又はAFP認定研修の修了日のいずれか遅い日の翌々年度末(3月)までです。
※2 CFP®資格登録期限はありません。
(大学院でのCFP®認定教育プログラムのうちAFP資格認定を受けていない方を除く。詳細は協会ホームページをご確認ください。)

資格認定会員

●CFP®・AFP認定者
入会金 10,000円
年会費 12,000円
※CFP®認定者は新規登録料5,000円及び別途、CFP®会費年間8,000円が必要
※上記の入会金及び年会費等は課税対象外
※学生割引制度もあります

一般会員

●協会の目的に賛同して入会する個人
入会金 10,000円
年会費 12,000円
※上記の入会金及び年会費等は課税対象外
※学生割引制度もあります

法人賛助会員

●法人賛助会員の制度もございます
※法人賛助会員制度の詳細は協会ホームページでもご確認いただけます
「トップページ」→「法人・行政機関の方へ」→「法人賛助会員・認定教育機関とは」



CFP®エントリー研修

※試験ではありません

●CFP®資格審査試験全6科目に合格した方を対象に「通信研修(eラーニング)」で実施します。
※詳細は協会ホームページをご確認ください。

受講料 無料

研修概要 年2回、CFP®資格審査試験合格発表後に実施
CFP®認定者に求められる倫理・コンプライアンスや実務経験の基礎となるFP実務の6ステップを通信研修(eラーニング)で学習

受講方法 受講期間中に会員ホームページ[Myページ]から受講